



発行
 県立加古川中学校
 県立加古川東高校
 清流会
 編集
 清流会文化委員会
 印刷
 丸山印刷株式会社



楽しい清流会へ



会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は清流会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。最近の世相の動向にはたいへん厳しいものを感じております。社会情勢、経済情勢、政治情勢等々いずれにおきましても混沌としたもので不透明感のみが漂っております。難問だらけといったところでしょうか？さて、清流会は、本部総会、各地区支部総会、各年次総会等々に加え、ゴルフ大会、ゲートボール大会の行事、そして新入会員入会式があります。今年も新入会員を迎えます。去る2月27日高校卒業式の前日ですが、清流会入会式を卒業生対象に実施いたしました。清流会の説明をさせて頂き入会できる喜びについてお話をいたしました。卒業生には入会記念として図書カードの配布をしております。その後、清流会表彰式を行い高校生活3年間に顕著な活動をしたり、文化、芸術、体育で表彰されたり高い評価を受けた

清流会会長 大西 壯 司 (高21回)

生徒に対して清流会表彰を行いました。これからも高校の協力を得て実施すべきであると思います。ところで、私はこの一年間、さまざま行事に参加させていただきました。その中で一番心に残ったのは、旧制19・20回生の年次総会でした。20数名の参加でしたが、会話がすすみお酒も入り歌まで飛び出し年齢を感じさせない楽しい会合でした。そして最後に今まで40数回の年次会を実施してきましたが今回を持って同窓会を終わりにしますと宣言されました。この最終同窓会に衝撃を受けたので、旧制19・20回生の歴史の書類は、本部で預かることになりました。さて、皆様から納入頂いている会費は清流会会報の発行、送付、支部総会、年次総会への御祝い金、在校生や学校への教育整備支援等に支出しております。しかし、

年々会費納入が減少していく中、運営が少しずつ苦しくなってきました。今一度、会費納入をお忘れの方には是非納入手配をお願いしたいと思います。清流会がますます発展していくことは同窓会にとって素晴らしいことだと思っております。しかし、



し、現下に考えますと卒業生は3万人を突破していますが、会費収入の減少、各会合への参加人数の伸び悩み等々の問題に突き当たっています。今、私たち清流会会員は清流会のあり方に今一度目を向けていただけないでしょうか。

母校の近況ご報告



校長 安本 直

厚く御礼申し上げます。

清流会の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、

さて、平成29年度、本校は大きな節目を迎えました。一つは、通学区域再編後3年が経過し、3学年すべてが第3学区からの入学者になり、名実ともに第3学区の高校になったことです。校訓「自治創造・明朗親和」を基本としながらも、加印・明石・北播からの入学生達が互いに刺激し合い、認め合いながら新しい校風を作りあげていってけると期待しています。

生徒が協力して課題に取り組む時間や英語での研究発表、部活動を通して交流しました。来春には、SSH事業の海外研修として台中に生徒を派遣し、現地の高校や大学との交流、調査研究等へと発展させる計画です。

二つ目は、本年度から新たに5年間のスーパーサイエンスハイスクール事業の指定を受けたことです。SSHを希望する学校が多い中、幸いにも採択されたのは、これまでの2期における生徒達の課題研究の実績が評価されたものと考えています。

今春の大学進学実績では、過年度卒業生も含めて、東大1名、京大8名、阪大27名、神大30名、国立大医学部医学科3名等、すばらしい結果を残しています。部活動においても、陸上競技部、自然科学部地学部、囲碁・将棋同好会が全国で活躍等、輝かしい成果をあげています。昨年度から始まった県立学校環境応援プロジェクト「ふるさとひょうご寄附金」制度には、多くの方々のご理解を賜り、1年間で430万円余りの支援をいただきました。各教室へのプロジェクト設置や国際交流のための資金として使わせていただきます。

第3期のSSHでは、『To the New Frontier』をスローガンに掲げ、理数科だけでなく普通科も含む全員が探究活動に取組み、「研究力・発信力・国際性」を伸長することをテーマに取り組んで参ります。探究活動は、次期学習指導要領でも重視されており、その指導方法の確立が急がれます。

最後に参ります。今後とも、益々のご支援・ご鞭撻を願います。また、会員の皆様のお祈りなる発展をお祈りします。

4月下旬には4年目となる台湾の台中女子高級中等学校研修旅行団の訪問がありました。今年も、両校の

最後に参ります。今後とも、益々のご支援・ご鞭撻を願います。また、会員の皆様のお祈りなる発展をお祈りします。



地域・職域支部だより

●東京支部「同窓生の集い2016」

支部長 松井昭憲（高30回）



平成28年は11月11日に総勢285名もの皆さんにご出席を頂きました。ここ6年は200名を超える参加があり、特に、この4年は毎年、参加者のレコードを更新しております。

清流会東京支部のスタートは、なんと、前回の東京オリンピックの年、昭和39年・1964年であります。当時、44名の同窓生が集まった、と伺っております。以来、本年度53年目の同窓会となりました。途中、25名程度の参加の年もあった、と記録にはありますが、東京支部の年次幹事の皆さんの活躍のお蔭で、このように盛大な会になってきました。特に昨年嬉しかったのは、高校68回のフレッシュマン・フレッシュウーマンが、なんと6名も参加してくれたことです。

これは、ご来賓としてお越しを頂いた清流会本部の大西壯司会長、そして安本直学校長の東京支部への暖かいサポート・情報連携のお蔭と心より感謝しております。

今回のOBゲストスピーカーはNHKの「今日の健康」等でお馴染みの荻尾七臣（かおりお・かずおみ）自治医科大学主任教授（高33回）で、「元気でいよう清流会へヘルスプロジェクト」という演題で健康法についてのお話しを頂きました。大変内容があり、お話しを聞いた同窓生の寿命が5〜10年は伸びたのでは、

●大阪支部

平成28年度大阪清流会総会は総勢72名の盛会でした。

今年、は測地学を研究されている高校25回卒業の京都大学大学院理学研究科教授の福田洋一氏をお迎えしました。テーマは「南極で重力をはかる」。

南極観測隊に5回も参加された貴重な経験を基にスライドを使いながらのご講演は大変好評でした。参加された皆様は「測地学」への理解を深めるとともに、未知なる大陸

と思えます。

「ふるさと・加古川クイズ」の司会は今年もNHK・高瀬耕造アナ（高46回）にお願いし、同窓生有志から頂戴した沢山の賞品を、参加者に喜んでお持ち帰り頂きました。

加古川からも黒田昌宏副会長（高37回）、山口勝英前会長（高15回）、谷正人校内幹事（高26回）や神戸新聞社・加藤正文様（東京支社編集部長）など多くの方にお越し頂き華を添えて頂きました。

今年同窓生の集いは11月10日（金）です。ぜひ関東一円は勿論、是非、加古川からもご参加ください。（ピムコ・ジャパン・リミテッド最高経営責任者）

へ観測隊に同行できた気分になられたのではないでしようか。

次に大西本部長より清流会本部の活動等について、安本校長より母校後輩の活躍ぶりについて近況報告していただきました。

恒例のラッキー抽選では、会員の方から商品券のご提供があり、思いがけない豪華な一等賞に司会の糟谷千恵子さんを中心に変盛りが上がりました。

最後は、高らかに中学校歌を斉唱された最高齢の伊藤良昭氏（中19回）、高校校歌はソプラノ歌手の杉原真理子氏（高21回）とバリトン歌手の藤村匡人氏（高35回）の先導で唱和しました。

いつもながら、会員の皆様に盛り上げていただき楽しい総会とできたことに感謝致します。



支部長 山本俊輔（高25回）

●奈良支部

わかかさ会会長 板倉白雨(高18回)

平成28年9月に開きました第34回総会のご報告をしたいと思ひます。

場所は、ビストロプティ・パリ。近鉄奈良駅より徒歩3分という利便なアルテ館2階のフランス料理店。わかかさ会は参加者も少ないごちんまじりした会なのでお店の選択も兼ねるので毎年変えることもできません。この度は、阿藤京子さん(高18回)がお店と交渉して決まりました。

今回も本部から安本直校長、松中泰幸教頭、大西壯司(清流会会長)、多木有一副会長の方々がご臨席をいただきました。京都在住の庭師、小柳憲治さん(高26回)に一方など一流の料亭のお仕事や何故庭師になられたのかお話ししていただきました。私にとつて全く知らない世界なので驚きとともに

興味が尽きませんでした。他の参加の方々もとても熱心に耳を傾けていたと思ひます。長年の懸案である、今後の会の活動を広げる為に清流会奈良支部を古都連合として京都と連帯するのに着手するつもりです。



●姫路支部

支部長 平田建喜(高19回)



開催日平成29年2月17日(金)開催場所おもてなしダイニング福亭。

今回から経費節減で一部メニュー案内試行。大庫隆夫副会長、安本校長らご臨席の下、総勢29名で開催。大庫会長代行のご挨拶、安本校長の母校近況報告及び司会者による会計報告のあと、来賓三木英一先生の乾杯で懇親会へ。今年も

若手会員らの活躍で盛り上がり、中盤からは、お招きした島崎純子さん(高43回)のアカーデオンの演奏に合わせ皆で歌に興じるなど、老若男女入り乱れ、活気溢れる同窓会となり、最後は例年同様、校歌斉唱、記念撮影をして終了した。

●明石支部

小田垣敦(高30回)



平成29年の総会を2月16日にJR西明石駅近くのホテルで、本部から大西会長と土屋副会長、母校から安本校長先生と井上先生をお招きし、支部会員51名の参加で開催しました。総会とあわせて支部顧問の本西英さん(高18回)に「一期一会」私が歩んだ技術者の道」と題して講演いただき、ご自身の輝かしい経歴とその時々に出会い大切にされている仲間をご紹介いただきました。本西さんは2006年に精密工学会フェローの認定を受けられています。

また一方で、母校の生徒が鳥の小翼を応用した風力発電研究で高い評価を受けたとの報告を聞き、私は技術者の端くれですが、先輩や後輩の活躍を誇らしく感じたとところです。来年の総会は2月15日に同じホテルで開催する予定です。

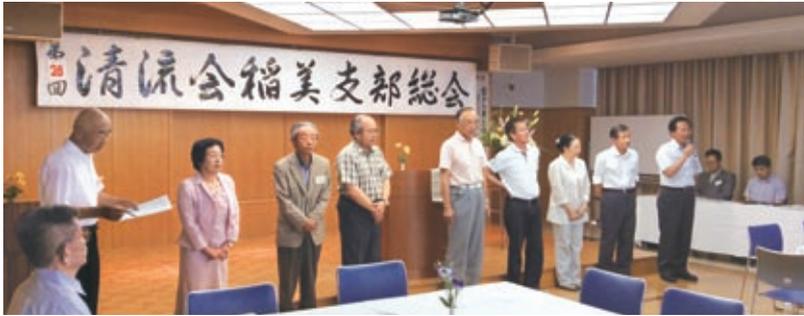
明石市内に在住在勤の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●稲美支部

支部長 西川征志郎 (高12回)

第28回支部総会を昨年7月3日(日)、稲美町コミュニティセンターにて開催しました。当日は本部から大西壮司会長、黒田昌宏副会長、母校から松中泰幸教頭、校内幹事の鶴飼義人先生にお越しいただきました。参加者は62名。総会ではインターネットHPを利用した行事案内、秋のウォーキングなどが紹介されました。また、これまで2期4年間、支部活動に尽力されてきた福田恒夫支部長が退任され、私が大役を仰せつかりました。皆様のご協力をお願い申し上げます。

第2部は藤原関夫先生(高23回、兵庫県立大学大学院工学研究科教授)に講演「雷から身を守るために」と題し、ご専門である電気の研究から具体的な安全対策について話



●県庁支部

原田剛治 (高39回)

28年度県庁支部総会が10月26日に神戸市内の六甲荘で開催された。現在会員は275人で、当日は名誉会員の釜谷、岡両県議会議員、来賓の大西壮司清流会会長、藤本陽一副会長を含む61人が参加。会長の藤原ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長が「県庁内で一大勢力を誇る同

窓会。それだけに活性化が県のメリットとなる」と積極的な交流を呼びかけ、役員改選で新会長に選ばれた糟谷県土整備部長も「今日は全体の5分の1の参加。次は4分の1の参加を目指したい」と更なる活性化の意欲を語った。来賓の安本加古川東高校長による母校の近況報告のあと、



市村加古川市副市長の発声で乾杯。懇談では、新会員のフレッシュなあいさつなどで大いに盛り上がり、最後に全員で校歌を斉唱し、同窓の絆を深めた。

●神戸教職員支部

池田浩二 (高39回)



平成29年2月25日(土)神戸天安閣にて、清流会神戸教職員支部総会が行われました。母校からは松中教頭先生、清流会本部からは大西会長が参加してくださいました。母校の近況報告では、現役生徒の活躍やスタインウェイのグラ

小坂くんの初参加があり、参加者最年長の高校12回坂本先生との歳の差は、何と半世紀10人という少人数の会でしたが、世代を超えた深いつながりを感じ、親睦を深められた素敵な会になりました。

コンサートが行われた様子など、とても嬉しい報告を聞かせていただき、大いに盛り上がりました。今回、高校62回



年次会だより

中19・20回

毎年開催の同窓会に幕

11月8日、加古川プラザホテルにて、最後となる会を開催した。139名の物故者に黙祷を捧げる。

釜江年次幹事の「一番勉強しなかった学年、だが卒業後社会の各分野での活躍は『昭和時代』の発展成長に大きく貢献した自負がある。」等の挨拶があった。

来賓として出席の、母校加古川東高校 安本直校長・清流会 大西社司会長から、各々在校生、卒業生の活躍や動静の説明があった。

東京より出席の寺西君の発声で乾杯、懇親に入り、戦中・戦後の苦労を話し合った。

終戦（昭和20年8月15日）の時、中学4年生、そのまま卒業する者と、一年延ばして5年生で卒業の二期に分かれたが、団結の絆は強く毎年同窓会が楽しみだった。

野田君のリードで、校歌斉唱・万歳三唱し宗佐君の「組織的に58回の同窓会」終了の言葉で幕を降ろしました。

〈出席者〉 伊藤一生（加古川） 伊藤良昭（高槻） 釜江侃

小林 直樹

（加古川） 小林直樹（加古川） 佐々木勝男（加古川） 宗佐昌巳（加古川） 田淵義明（加古川） 寺西孝雄（東京） 中田圭一（加古川） 野田義一（三木） 長谷川敏郎（高砂） 東田利昭（加古川） 廣田喜作（三木） 藤原俊幸（明石） 藤原正明（三木） 船原聰彦（三木） 宮下俊生（高槻） 山田憲男（神戸）。



加古中第19・20回卒業生同窓会

中21・高1

平成28年同窓会

36回目の同窓会を加古川組が担当。11月26日、明石・ホテルキャッスルプラザに11名が集った。

今年も出席できた事を互に喜び、亡くなった懐かしい60%もの友に黙祷をした後、思い出や友の話。近況や体調などの情報交換。今後の事など、時間の過ぎゆく事を忘れるニギヤカな楽しい時間を過ごした。

最後に矢作先生作詩の校歌「流れてつきぬ加古の川…」を斉唱。来年の再会（清流会総会と同窓会）を約して別れた。

来年の担当は「神戸組」。

世話人 金川 俊成

追伸
近況報告を頂いた44名中、一応元気な人22名、体調に問題のある人14名など、友の最新情報を出席者に渡し、欠席者には郵送した。



高3回
(燦三会)

老華の集い

年次幹事 畑谷 芋一

「生存証明まで」の一葉は、将に、頼りある便りだった。

同期は半減、寂しくなる中、恒例の高齢会を延々と開く。

飽くなく生きようとすが、次第に意欲は減退し、話題も減少、例会はマンネリ化した。

そこでギターを生演奏を取り入れてみた。すると、全員が熱視線で好評だった。その間に、即座に四短歌が作られ、八十路の夢として披露した。

食前曲で気分が上り、雰囲気は一転した。すべて老華が進む今、華麗に生きる集りは、「秋日一刻 価千金」となった。

話題は目前の友よりも、来ぬ人を案じて「今頃どうしているのかしら？」となる。

思い出だけで生きているので、大いに加古の過去を話し合う機会ともなった。今後、まったり生活をやめ「もう」ではなく「まだ」の気概を持つ。



って、米寿を目指すことである。

再会を願う「谷間の灯々赤いりんご」夕空晴れて旅愁」と、昭和曲を元気に唱和した。

次回29年11月5日(日)を期したい。

高6回

八十路をたどる

前田 功

同窓会を4月21日と決めて今年で3年目、毎年実施してきた。そのころは葉桜からハナミズキの季節に移る好季節である。

今年50名の参加があった。千葉、東京、横浜など遠方からも10名近い参加者があり、楽しいひとときになった。とても81歳を過ぎたものたちの集いとは思えず校歌を声高らかに歌うとおたがいに元気をとりもどし、高校時代にもどったような雰囲気があった。

ただ、鬼籍に入るものも増え、昨年参加しながら今年にはもう顔の見られないものが2名あった。

「散る桜、残る桜も散る桜」良寛禅師の有名な句であるが、鬼籍に入るのはだれだつて避けられないことである。しかし、それはまだまだ先のことであ



てほしいと願わずにはいられない。八十路をたどる足取りはまだ確かである。おたがいに健康に心をくぼつて生活し、来年の4月21日に笑顔で会いたいものである。

高8回

傘寿の同窓会 いくつになっても「希望と情熱」を

年次幹事 前田 正

平成28年11月15日(火)加古川プラザホテルで傘寿の同窓会を開催した。参加者は60名、千葉、東京、埼玉等の遠方からの参加者もあり、県外からの参加者が三分の一を占めた。

来賓として清流会大西会長のご臨席を得て大いに会を盛りあげていただいた。会長は、卒寿の同窓会の様子から、いつまでも元気で長生きのすばらしさを語られ、激励をいただいた。

また、今回、母校加古川東高校の現況について、学校からの資料をもとに紹介があり、60年前の在校当時との違いに、参加者はそれぞれ変わりゆく母校への思いを新たにすることができた。

会は、久しぶりに出会った懐かしさで、尽きぬ話に花が咲き、終始和やかな雰囲気の中に包まれた。中には在校当時の写真を持ち参したり、加古川の街の今昔を偲ばせる資料を見たりしながら、高校時代を懐かしんだ。また、それ



ぞれの近況報告やカラオケも楽しみ、2時間があつたという間に過ぎていった。最後に、本格的なオーケストラの伴奏のテープに合わせ、在校時代のコーラス部がリーダーとなって「ふるさと」「母校校歌」を全員で合唱し、またの再会を約して、会を閉じた。

高10回

喜寿記念同窓会の開催から

同窓会幹事 井原 源介

昭和33年に卒業して59年。5年単位で開催していた同窓会だが、今年は喜寿に当たることから、1年前倒しで9月11日プラザホテルにおいて78名の同窓生が一堂に集い、賑々しく開催することとなった。

物故者66名の冥福を祈り黙祷の後、清流会長、学校長等の挨拶、そして「鏡割り」で喜寿を祝い、懇親宴会が始まった。「お辞儀して、共によろけ



る、同窓会」。いやいや出会った瞬間から高校生気分(?) 恩師のこと、心ときめいたこと、盛り上がりげに上がるほどの時の流れは早く、予定の時間が過ぎ、校歌斉唱・記念撮影。「今度は、3年後の傘寿の年に再会を! それまで元気で」。と約束し、楽しかった会も閉幕となった。二次会は、「加古川倶楽部」で殆どの友が参加し、こ



高11回

喜寿の笑顔は輝いて!!

幹事 土師 さかゑ

平成29年5月10日、加古川
プラザホテルで、高校11回生の
17回目の同窓会を開催しま
した。

みな後期高齢者になり、喜
寿となると、参加者も少なく
なるのではない

かと、思ってい
ましたが、当日
は、男性43名、
女性43名の計86
名の方に参加い
ただきました。

欠席者のハガ
キでは、腰痛・
ひざ痛など、体
調不良の方も多
くありました
が、参加者は皆
さん元気で、笑
顔も素晴らし
く、久し振りの
青春を楽しいま
した。参加者の
中には結婚式を
迎えられた方も
おられ、ささや
かなお祝いの品
をプレゼントさ
せていただきま
した。

遠く関東や四
国から参加い
ただいた方もお
られ、二次会も大
いに盛り上がり



ました。
次回の開催は、平成30年の
秋の予定です。体調を整え、
また元気にお逢いできるのを
楽しみにしています。

高13回

会いたかったぜ

山田 拓史

「会えば青春同窓会、おほ
そうかいと来て下さい」と呼
びかけたところ、50人が集ま
り9月24日に13回生同窓会を
開催しました。次々と近況報
告があり

東京方面
の諸君も
健在とわ
かり、各
自それぞ
れのつと
めをしつ
かり果た
している
ことを知
つてお互
いに元気
をもちう
ことがで
きました。
返信ハ
ガキが200
枚届き、
短文なが
ら万感こ
もる文章
捨てがた
く、11ペ
ージの冊
子にまと
め「一筆
啓上」と
タイトル
をつけて
200人に配



りました。今回は3年後、喜
寿の同窓会です。
俺は待つてるぜ。

高15回

うれしい!!出席率

伊谷 健

6月に予告、9月には本通
知を経て平成28年11月6日
(日)に4年振りに高15回生
の10回目の同窓会を加古川プ
ラザホテルで開催しました。
清流会本部の「清流で出会
い、ふれあい、語り合う」の
フレイズ通りで楽しくダベリ
ング(?)のプログラムが進
みました。



現在籍318名中の参加者は100
名でうれしい出席率でした。
遠くは茨城県からも駆けつけ
てくれた仲間もありました。
特に恩師、井澤先生の93歳と
は思えぬ元気で含蓄あるスピ
ーチに参加者も元気づけられ
ました。
恒例になった前川、高橋両
名のマジックアトラクション
を楽しみ時間も瞬く間に過ぎ、
その後は二次会へと多勢流れ
込む状況でした。
なお次回は「東京オリンピ
ックの年」に元気で健やかに
出席しましょうと約束してお
開きとなりました。



高15回の年次会から本会に
寄付をいただきました。
¥30,000—
特記して感謝申し上げます。

高17回

幹事代表 森岡 史朗

去る2016年11月3日(祝)に加古川商工会議所の大会議室に於いて第8回の高校17回卒業生の同窓会を開催いたしました。2010年に開催してから、3年に1回開催することとなり偶然にもこの年が古稀となりました。卒業してから半世紀、卒業したときには考えもつきませんでした。

しかし、半世紀がすぎてもなつかしい顔に逢ったときには半世紀前のあの時代に気持ちをはかえってしまいます。社会にでていろんな経験を積み重ねた末の顔顔。そんな笑顔をみるときがこの上ない喜びです。

イベントではビンゴゲームを行いました。たさんの景品を持って帰っていただきました。前日にはゴルフコンペを実施し、浮田君が優勝されました。コンペも参加者がすこしずつ減ってきましたが、体力のつづく限り開催していきたいと思っております。

次回は3年後の2019年になりますが又元気で再会できることを約束して閉会しました。2次会は加古川クラブで夜遅くまで楽しませていただきました。同窓生って良いですね。



高29回

29回生 再会の時

願成寺保育園園長 北野 砂恵子

4年に1回開催される年次同窓会。第6回目は、平成28年8月13日に、恩師3名を含む124名が、加古川プラザホテルに集合した。

前半は、3年生時のクラスごとのテーブルに着席。毎年少しずつ増える物故者に黙祷を捧げながら、元気に参加できたことに感謝。恩師の紹介、乾杯の後、歓談・会食に

時間が4年ぶり、それ以上ぶりに再開した友との会話が花が咲く。そして、後半は、恒例のシャッフルタイム&ゴングスピーチ。クラスに関係なくシャッフルしたグループに分かれてのテーブルスピーチ。自分の持ち時間終了のゴングが鳴るまで、近況報告やリタイア後のことなど自由に話す。同じクラスになったこ

とのない人、話したことのない人のスピーチに、驚いたり感動したりしながら、人の繋がりを広げる時間にもなる。その後は、校歌、応援歌を斉唱し、生徒会執行部の締にてとりあえずは中締め。それから、2次会、3次会、4次会と。2日がかりの同窓会になった人もあったのでは。どこまで書いた私、実は参加できず。打合せ資料と、今までに参加した時のことを思い出しながら書いたことお詫びいたします。

さて、次回は4年後、東京オリンピックの年での再会まで、みんな元気で頑張ろう。でも、その前に、還暦を迎える来年の8月には、清流会の総会でプレ同窓会はいかが。



高31回

31回生年次同窓会について

鈴木 利信



昨年8月13日に、加古川プラザホテルにおきまして、31回年次同窓会が行われました。2年半ぶりの同窓会にもかかわらず、同窓生55名が集いました。

前回の年次同窓会では、全員が一人ずつ自己紹介するだけで、時間がなくなってしまう、それぞれがゆつくりと話をする時間がとれませんでした。そのため、今回は、それぞれが思い思いに話をしてもらうことにしました。

同窓会の最後には、高校時代の写真を、西川佳弘君が編集してくれており、それを見ながら見ていると、本当に高校時代に戻ったような思いになりました。

前回の同窓会をきっかけに、フェイスブックなどで、交流が続いており、同窓生同士で、気軽に集まる機会が増えていきます。今後ともこの絆を大切にしたいと思っております。

高34回

初めての同窓会

昨年8月13日、尾上町安田のミル・アンジューで卒業後初めての同窓会を開催しました。松井賢先生、橋本菜摘先生、永田登喜代先生、北川英基先生、中本俊昭先生、三木滋先生にお越しいただき140名の同窓生と34年ぶりの再会を祝福しました。亡き友数名への黙祷に続き、富岡毅志君のサックス演奏、3年次2年次1年次のクラス毎の歓談、(同窓会の少し前に)毎日放送の番組「ちちんぷいぷい」で放映された現在の母校のDVD上映、そして恩師の先生方には、お一人ずつ懐かしいお言葉をいただき、最後に校歌を斉

蓬菜 真吾



唱し、あつという間のお開きとなりました。これを機会に34回生限定のフェイスブックを開設しましたので、この度連絡が取れなかった方々には是非フォローリクエストしていただけたらと思います。

高48回

平成28年8月14日、加古川市尾上町の「ミル・アンジュー」にて、卒業後約20年、高48回生の同窓会を行いました。忙しい中にも関わらず、嬉しいことに約100名もの友人たちが再び集まりました。山田拓史先生、窪田隆三先生、田中勝先生、丹野孝広先生、藤原千佳先生の5名の先生にもお越しいただきました。それぞれが、各地で、家庭や仕事等で、大活躍しています。12組それぞれのクラスからの挨拶、残念ながら、東京や海外で仕事をしていた出席できなかった同窓生からのビデオレターも大盛り上がりでした。終始、あ

三井 尊文



ちこちで、高校時代に戻って思い出話や近況報告が大いに盛り上がり、一日では語り足りないぐらいでした。また5年後に開催する時には、さらにたくさんの方の参加があることを期待しています。次回も楽しみにです。

高54回

初めての同窓会

平成29年1月3日、明石グリーンヒルホテルにおいて高54回生初めての同窓会を開催しました。104名の同級生が参加し、窪田隆三先生、野澤稔先生、山田拓史先生、神田周久先生、春名正章先生にお越しを頂いて総勢109名の盛大な会となりました。初めての同窓会ということもあり、緊張した表情で来られた方もいましたが、懐かしい顔を見ながら笑顔になり、気分は高校生に戻り、あちらこちらで昔話で盛り上がっていました。旧友との再会、恩師の先生方のお言葉、様々な分野で活躍されている同級生の話等、同窓会の醍醐味を満喫しました。次回は5年後に開催予定です。

西田 寛



すので、多くの同級生に参加してほしいと思います。

クラブテニス 15周年記念盛大に!!

事務局 丸山 靖彦 (高10回)

テニス部OBでつくる清流会テニスクラブの設立15周年記念祝賀会が去る10月22日(土)ホテル・オークラで40名の仲間が集い、来賓には安本校長、部顧問の山本・安井両先生をお招きし盛大に行われた。

アトラクションに高23回生大谷氏率いるリラックスカフエのギター演奏を聞き、和やかな雰囲気の中、青春の思い出を時間の限り語り合い、最後に後輩の支援と会の発展を確認して散会した。



会員だより

昭和の名横綱・双葉山「われ未だ木鶏たりえず」

東京支部・井上 晴規 (高7回) 常勝双葉山が、昭和14年・1月場所4日目。ついに安芸ノ海の外掛けに69連勝で阻まれたその日の夜、知人に打った電報です。木鶏に鍛えられた闘鶏が、木彫りの鶏のように静か無心の境地にあるさま。双葉山はかつて陽明学者・安岡正篤氏から『列子』『莊子』の木鶏の話聞き、深く心に留めていた。この電報は、木鶏たらんと努力するも容易に果せぬ自分であった偽りない心情の告白でありました。と時津風定次「相撲求道録」に記されています。「有名な話で誰でも知っているよ」これが清流会にどんな関係があるのと、ご不審に思われるでしょう。実は高砂と同窓生に繋がるエピソードがありました。当時、双葉山は度々高砂へ来ていました。横綱が来る日にはいつも国鉄高砂駅前黒山の人だかりだった。実は南本町の中谷大吉氏(中8回)のご実家への訪問です。前記の電報を打った知人とは、氏の兄上・清一氏宛でした。清一氏は双葉山が小結の頃からの大変に親しい、たにまち「でした。これを米航路船上にあった安岡氏に打電したのが世に出るきっかけとなりました。謡曲「高砂や」や「相士の松」で有名な高砂神社の近くに「横綱稲荷」があります。兄上が奉納された双葉山の綱、ふれ太鼓が納められていま

す。機会がありましたら足をお寄せください。中谷先輩は昭和17年、3高(現京大)から通産省に入省されましたが支那に出征。復員・療養後の昭和23年に上京されました。しかし一面焼け野原の戦後の事、東京で時津風部屋に下宿し役所へ出勤されていた。これは直接にお聞きした余談ですが、お風呂では横綱鏡里に「坊ちゃん流ししよう」と背中を流してもらったこともあるそうです。横綱に背を流してもらうなんて豪気な話ですね。横綱などは生卵で肌を磨くそうです。あの有名な話の内側に、郷土高砂や同窓生とこんな縁があったのです。先輩は通産省で繊維関係の公務に精励され、ご退官後は日本棋院六段の腕前で将棋を楽しまれていました。この東京支部大長老のお一人であった中谷先輩も、平成28年10月に97歳の天寿を全うされました。茲に大先輩のご冥福を祈り、清流会の皆さまにこの挿話をご紹介申し上げます。尚この一文は百枝夫人のご了解を得ています。ご夫人も高砂ご出身で加古川高女(現加古川西高)29回の卒業。そしてご兄弟3人も清流会とまことご縁は深いものがございます。



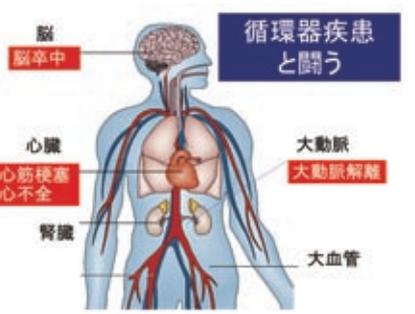
近況報告「元気でいよう清流会」 「血圧ヘルスプロジェクト」

自治医科大学内科学講座循環器内科学部門 主任教授 荻尾 七臣 (高33回)

昨年、清流会東京支部・同窓生の集い2016で、「元気でいよう清流会」血圧ヘルスプロジェクトという題で、お話をさせていただきました。これまで積み上げてきた専門領域のノウハウをお話し、懐かしい同窓生や先輩・後輩に、少しでも健

康寿命を延ばしていただきたいと思っていました。私は、東高を卒業後、自治医科大学に入學し、卒後は淡路島で地域医療に従事し、現在は母校で循環器内科学教室を主催しています。脳卒中や心筋梗塞をはじめとする循環器疾患は、急に発症します。しかし、そのリスクは一日にしては成りません。発症するずっと前から、準備状態があります。この準備状態とは、動脈硬化の進展です。高血圧、糖尿病、喫煙、高コレステロール血症が、この動脈硬化を進展させるリスク因子となります。さらに、高血圧や糖尿病が発生して、前に肥満が先行します。したがって、肥満の抑制が青年期・成人期においては最も重要です。肥満になると腎臓から塩分を排出する力が減少する体質に変化します。この状態を「食塩感受性体質」と呼びます。食塩感受性体質の人では、同じだけ食塩を摂取しても、腎臓から塩分が排泄されにくいため、体に食塩が蓄積し、高血圧が発生します。したがって、減量と減塩は、同時に行うことが極めて効果的です。

血圧はその時点での循環器疾患のリスクを示します。血圧は100mmHg(収縮期血圧)が20mmHg、最低血圧(拡張期)血圧が10mmHg上昇する毎に、循環器疾患のリスクは、2倍ずつ上昇します。つまり、120mmHgのリスクを1とした場合、140mmHgの人で2倍、160mmHgの人で4倍、180mmHgの人で実に8倍ものリスク増加があります。したがって、血圧レベルの高い人、特に160mmHg以上の人で、リスクは極めて高いことがわかります。しかし、循環器疾患のリスクは、血圧を低下させることにより、減少することが知られています。最大血圧を5mmHg低下させることで、脳卒中のリスクを20%程度、心筋梗塞のリスクを15%程度、減少させることができます。循環器疾患のリスクは、24時間、365日、毎日一定ではありません。血圧の変動に合わせてリスクが変動するのです。つまり、血圧が上昇するタイミングで循環器疾患の発症リスクが増大します。血圧を上昇させる悪条件が重なった時に、血圧がさらに上昇して、脳血管が破れたり、詰まったりして脳卒中が、心臓の血管が詰まり心筋梗塞が発症するのです。その悪条件の重なりとは、「この数日、仕事のストレスが続いており、昨晚、多量の飲酒をして、よく眠れなかった状態」で、早朝に急いで駅の階段を駆け上がった。その途端、プラットフォームで急性心筋梗塞が発生した。などです。これは実際にあった話です。血圧測定時に、急に血圧が上昇していた場合には、可能な限りの深い深呼吸をできるだけゆっくり行ってください。血圧が10mmHgはすくなく低下します。今できる最も効果的な循環器疾患抑制の第一歩は、血圧測定で、自分のその時の循環器疾患のリスクを知ることです。是非、これを心がけていただきたく思います。健康診断などで血圧が130/85mmHgを超えた方は、家庭血圧計で早朝血圧を定期的に測定して、そのレベルが135/85mmHgを常に超えないようにし



ておくことです。100-125mmHgの範囲であれば理想的です。

私の研究テーマは、個人の経時的ビクデータに基づき循環器疾患の発症を予測し、回避する循環器領域の「予見医学」(Anticipation medicine)です。一人一人の医療判断に役立つ予見医学には、(1)より確かな生体情報を感知するセンサ

1、(2)リアルタイムの情報処理基盤システム、さらに(3)人工知能、この3要素の技術的イノベーションに加え、より精緻な個人の時系列データベースの構築が不可欠です。現在、自治医科大学循環器内科において、地域医療循環器先端研究開発センター(JCARD)を併設して、生体センサーの産学共同研究開発と全国ならびにアジア諸国の研究者と情報通信技術(ICT)を用いた臨床ネットワーク研究を行い、個別循環器予見医療の実装に向けたエビデンスの創出を行っています。

社会に出る前の高校時代は、個人の原点を形成する重要な時期であり、かつ、その人の持つ素の人柄も表れていた期間であったと思います。清流会東京支部2016では、同級生の懐かしい顔ぶれや同じ地域を故郷にもつ先輩や後輩の同窓生にお会いでき、変わらぬその人の人柄と、現在の姿をみる事ができました。これからも、同窓生に、また過去の自分に恥ずかしくないよう、誇りを持って社会貢献への努力を続けてゆこうと気持ちを新たにしています。

祝昇段 船江恒平六段

さらなる飛躍に向けて活躍中！

とんかつきりしまオーナー 中村 理恵(高44回)

加古川駅に降り立つと、「棋士のまち加古川」の文字とともに、加古川ゆかりのプロ棋士たち5名の大きな写真が目飛び込んできます。なかでも、清流が生んだプロ棋士、船江恒平六段の雄姿は、同窓生として、

ひときわ眩しく感慨深いものがあります。

去る2月14日夜、船江六段の「昇段を励ます会」が清流会有志により開催されました。約30人の先輩方と共に、将棋知識ほぼゼロの私も出席。今思えば、将棋に関してもう少し事前に調べておくべきだったと後悔があります。(苦笑)

約5年の歳月をかけて公式戦で120勝し、昨年12月28日に六段に昇格されたこと、さらに、七段までには、これから150勝が必要なお話を拝聴し、いかにその過程が大変な努力の積み重ねであったかを知り、改めてその偉業に胸が熱くなりました。頭脳格闘技とも言われる将棋。その勝負はとも熱いですが、六段昇段記念の扇子には、「静かで動揺しない心境」を意味する「寂然不動」が記されており、将棋の道の真髄を極める船江六段のプロ棋士としての気概を感じました。

いまや、将棋を指さずに楽しむ観る将棋ファン「観る将」の増加、人気アニメの映画化などで、本格的なブームとなりつつある将棋界。棋士のまぢ加古川の観光大使としても大役を担う船江六段の、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



船江恒平さん六段昇段お祝い
2017年 2月14日 清流会有志

【船江六段プロフィール】

神吉中卒。小学2年生から、井上慶太九段が指導する加古川市内の将棋教室に通い始める。11歳でプロ棋士を育てる奨励会に入会。2010年に23歳でプロ棋士デビューを果たす。若手棋士の登竜門となる日本将

棋連盟公式戦「加古川清流戦」初代優勝者。

また、詰将棋の分野でも有名で、作る方では看寿賞を高校在学中に受賞。解く方でも詰将棋解答選手権で優勝している。

4月からは、将棋講座『船江恒平の終盤は筋よく指そう』(NHK教育)で、テレビ出演がスタート。船江六段が少年時代に祖父と一緒に楽しみに見ていたという同講座では、水を得た魚のように生き生き輝く講師としての船江六段の新たな魅力が花開いている。

副業で「加古川森林組合」をやっています

(株)ムサシ代表取締役社長 新割り結社umberjacks社長 岡本 篤(高45回)

先輩・後輩・同級生のみなさんこんにちは。45回生の岡本篤です。八幡町にある(株)ムサシでセンサーライトを作っています。鼻毛に白いものが見つかる歳になりました。唐突ですが、薪割りをしたことがある人はいらっしやいますか。20回生以前くらいの人で志方町や八幡町あたりだと「子どものころに手伝いでやらされた」というかたもいるかもしれません。

わたしは実は薪割りを教えているんです。仲間と山林作業をして木材を生産し薪割りワークショップという講習会をやっています。じつは加古川市には森林組合がありません。あたりまえですね、林地ではないのだから。しかしこれはちょっと困りものなのです。

樹木って放置しても毎年成長してりっぱな大木になるのに、それを商売にする人がいないんですよ。わたしは日岡山のふもとに住んでいるのですが、大木にフジのツルがからまつてもはやジャングルです。いや、日岡山は公園として市が管理するのまだマシ。市内でも北部を中心に

あちこちに山林はありますが、すべて使い道がなくほったらかしです。これからさらに成長したら狐狸の暗躍するうっとうしい森林になりま

す。わたしの家で飼っているニワトリも毎年キツネやアライグマに襲われます。昨冬はなんと加西市にツキノワグマがでたそうです。山の木はときどき切らないとダメなんです。

自宅用ストーブやピザ屋の燃料にする(売っています)のですが、そもそも使用量が少なすぎて木材の成長に追いつきません。じつはすでに手遅れの部分もあって、あまり大きな木は切り倒しても人力では搬出ができません。加古川の山には林道なんてありません。

ぜひご自宅でも薪を燃料として使ってみませんか。いままなら安く、というか自分でやるならタダですよ。



第二の故郷、高知と働く1人1人

大西 緑(高59回)

私は、高知県のテレビ局で、県内の日々の出来事を伝える報道の仕事をしています。仕事は7年目を迎える今では、「しちゅう(した)何しゅうが?」「何してるの?」のような見よう見まねの土佐弁で高知の方と触れ合っています。

稲美町で育った私は東高を卒業後横濱の大学へ進学しました。横濱の大学を選んだのは、不慣れた田舎が嫌いで刺激的な毎日を過ごせる都会への憧れが強かったからです。その好奇心に任せて、大学時代は、有名な歌劇団のオペラのコンサートへ行ったり、海外の留学生と積極的に交流

をしたりなどなど、とにかくやりたいことを全部しました。

そんな大学生活を終え、社会生活は、海を隔て四国山地を越えた。異国。高知でスタート。視聴者と近い存在でありたいと、地方のテレビ局に入ったのですが、正直、不便で都会のような楽しみもなく、「なんでこんなところに来てしまったんだろう」ともやもやしなながら4年を過ごしました。迎えた5年目の春、仕事で山の中の小さな集落へ行きました。平均年齢は70歳以上、このまよいけば、いづれなくなると言われる集落です。少しの間だけでも賑わいをと、桜の木をたくさん植えて毎年桜祭りを開いて、その祭りを取材しました。

そこで見たのは、出店を切り盛りする高齢者の皆さんの満面の笑顔。腰が曲がりながらもそれは嬉しそうに楽しそうに観光客と話をしている、その時は「一人の本来の姿はこれだ」とハッとさせられました。大学以降、希薄な人間関係を心地よく感じていた私でしたが、どこか虚しいような感覚。人は人と触れ合うことで幸せになれるのだと気づかされ「もつと人間らしく生きよう!」

と思うようになりました。高知には、最先端のものとはほとんどなく、ただ、手つかずの雄大な自然、新鮮な野菜に魚、そして人との濃いふれあいを強く望む人々がいて、人間らしい生活ができる場所です。そんな高知で生活できたおかげで、「嫌いだっただ地元も良いものかもしれない、地元をもう一度好きになつてみよう」と思うようになりました。生まれ故郷が好きだという気持ちは、思いがけなく生まれるものですね。今は、いつか、地元のために働きたい」と強く思っています。

最後に、稚拙な文章を最後まで読んで下さりありがとうございます。そして、清流会事務局の方々には、このような寄稿の機会を与えて下さり、本当に感謝しています。



2017年度入試概況

2017年度センター試験の志願者数は

575,967人(昨年563,768人・前年比102.2%)、本試験の外国語受験者数も540,941人(昨年530,636人・前年比101.9%)といずれも増加しました。

大学入試センターが発表した志願者数の現卒別の内訳をみると、現役志願者数は昨年から9,507人増の471,842人(前年比102.1%)、既卒生志願者数も2,664人増の99,118人(同102.8%)といずれも増加しました。このうち現役志願者数の増加については、来春の高校卒業見込み者が前年から約1万人増加することに加え、センター試験の現役志願率(センター試験現役志願者数/高校卒業見込み者数)が上昇したことも影響しています。

近年国公立大で推薦・AO入試にセンター試験の成績を利用する大学が増加していることも要因でしょう。2021年から導入される大学入学希望者評価テスト(仮称)を中心に、現在大学入学選抜について盛んに議論が交わされています。その主眼は思考力、判断力、表現力を評価する試験の導入であり、すでに現行のセンター試験の問題においてもその傾向があらわれています。例えば、今年「数学I・数学A」で2つの分野の融合問題が出題されました。また、地歴Bの各科目では、いずれもグラフや図表、統計資料などの読み取りが必要な問題が出題されました。このように知識だけでなく思考力を要する設問が増えています。

文系は国語や日本史Bの平均点がダウンしたものの、英語、数学、生物基礎などの易化による影響を受け、全体の平均点はアップしました。7科目文系型生の成績分布は山が上位へシフトし、640点付近(得点率7割)から増加が見られます。とくに旧帝大を中心とした国立難関大合格の目安となる8割以上の成績層は前年比14%と大きく増加しています。理系は、多くの理系生が受験する化学の平均点ダウンが全体平均点にも影響しました。ただし、7科目理系型生の成績分布は下位層と上位層の両端に広がる形になっています。国立難関大合格目安となる8割以上の成績層は前年比105%とわずかに増加しました。

取りが不要な問題が出題されました。このように知識だけでなく思考力を要する設問が増えています。

文系は国語や日本史Bの平均点がダウンしたものの、英語、数学、生物基礎などの易化による影響を受け、全体の平均点はアップしました。7科目文系型生の成績分布は山が上位へシフトし、640点付近(得点率7割)から増加が見られます。とくに旧帝大を中心とした国立難関大合格の目安となる8割以上の成績層は前年比14%と大きく増加しています。理系は、多くの理系生が受験する化学の平均点ダウンが全体平均点にも影響しました。ただし、7科目理系型生の成績分布は下位層と上位層の両端に広がる形になっています。国立難関大合格目安となる8割以上の成績層は前年比105%とわずかに増加しました。

文系では、社会科学系の各系統で出願予定者の増加が目立ちます。特に模試でも堅調な人気を示していた「経済・経営・商」学系は前年比108%と高い人気を示しました。理系では、「理」「農」学系の出願予定者は前年を下回っており、人気の低下が感じられます。「工」学系は前年比103%と増加していますが、分野により状況が異なります。

文系では、社会科学系の各系統で出願予定者の増加が目立ちます。特に模試でも堅調な人気を示していた「経済・経営・商」学系は前年比108%と高い人気を示しました。理系では、「理」「農」学系の出願予定者は前年を下回っており、人気の低下が感じられます。「工」学系は前年比103%と増加していますが、分野により状況が異なります。

69回生 進路状況

	進学						就職	予備校等	計
	4年制大学			専門学校	短大				
	国立	公立	私立						
男	68	40	16	0	0	0	47	171	
女	55	33	62	0	2	0	31	184	
総計	123	73	78	0	2	0	78	355	

最近卒業生大学合格状況(延べ人数)

	平成29年3月		平成28年3月		平成27年3月	
	69回生	過年度	68回生	過年度	67回生	過年度
	国立4年制大学	132	47	120	56	158
公立4年制大学	82	17	97	17	61	16
私立4年制大学	381	169	429	174	405	138
私立短期大学	0	0	1	0	5	0
大学校	0	0	0	1	1	4
計	595	233	647	248	630	191

す。「通信・情報」「建築・土木環境」といった分野で出願予定者が増加し、人気となっています。女子の増加も人気を押し上げる要因となっているようです。

本校卒業生の合格状況を簡単にまとめさせていただきます。東京大1(現役1)、京都市大8(4)、大阪大27(17)、神戸大30(23)、難関国立10大学計81(51)となっています。国公立大学には合計278人、現役生では214人合格し、学年全体の約6割が国公立大学に合格しました。また、私立大では、慶應義塾大2(0)、早稲田大7(3)、同志社大41(24)、立命館大53(23)、関西大57(37)、関西学院大108(82)の合格となっています。くわしくはホームページをご覧ください。

「ギタフォ」から「軽音楽部」へ



平成28年度のギターフォーク同好会は3年生15名、2年生40名、1年生33名の88名で活動を開始しました。それまでは清流館3階の大会議室と多目的室をお借りして活動していましたが、会員数が増えて、全員が毎日練習するには窮屈になっていました。そこで、吹奏楽部にお願したところ、生徒集会室(食堂)も使わせていただけるようになり、充実した練習が可能となりました。

ギターフォーク同好会の主な発表の場は、5月の文化部発表会、6月の体育祭の後夜祭での演奏、7月、9月、12月の定期ライブとそれに向けての部内発表です。生徒の多くが、入部当初は楽器演奏の初心者でありながら、先輩に教わったり個人練習を積み重ねたりして、ライブができるまでに上達します。回数を重ねるごとに演奏技術が格段に高まり、音色が変わっていくことに、私達はいつも驚かされます。昨年度も、毎回多くの観客を集めました。まだ未熟な部分があるものの、聴き応えのある演奏ができたのではないかと自負しています。特に印象深かったのは、体育祭の後夜祭で、期せずして観客から大合唱が起こったことです。それは、「演奏者と観客が心を一つにする時間を創り出す」という、会員達の願いがかなった瞬間でもありました。

このような生徒の熱意を直接に感じる中で、残念に思うことがあります。それは「同好会」であるために活動の場を学校内に限られていたことです。地域での演奏、他校との合同練習、またコンクールなどへの出場の機会が閉ざされていたのです。ひたむきに練習を積み重ねるうちに、生徒の中にも「安全地帯」から出る必要性を感じる者が出てきました。そうしてここ数年は「部」に昇格することの意味と責任についても話し合うようになっていました。

生徒指導部や生徒会は、こういう状況を見守り、やがて理解し、「部」への昇格に向けて前向きに検討して下さるようになりました。昇格への賛同を求める署名にも、必要条件の60名をはるかに超える生徒が署名し、用紙が足りなくなる事態まで起こりました。

平成29年4月、生徒議会の承認を経て「ギターフォーク同好会」は部へ昇格し、名称も「軽音楽部」と変更することになりました。「ギターフォーク同好会」という名称に慣れ親しんだ卒業生の皆さんは少し残念に思われるかもしれませんが、しかし、「バンドを固定せず、技術の巧拙を超えて、好きな音楽を仲間と、そして観客の皆さんと共に楽しむ」という「ギタフォ」の精神は少しも変わりません。それを理解していただいで、これからも「軽音楽部」の活動を見守っていただき、機会があれば演奏会に来ていただけたら幸いです。



平成28年度 清流会表彰者

1. 学校内での活動

(ア)部活動において優秀な成績を収めた者(計42名)

①運動部: 県大会3位以上の個人またはチーム(エントリー人数分)

陸上競技部(3名)

組	氏名	顕彰内容
3-3	島中 翼	第67回兵庫県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会男子4×100mリレー 第2位
3-4	永井 瑞希	第69回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会男子110mH 第3位 秩父宮賜杯第69回全国高等学校陸上競技対校選手権大会近畿地区予選会 男子110mH 第6位 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 出場
3-9	栗原 拓也	第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会男子8種競技 第1位 第3回全国高等学校陸上競技対校選手権大会出場 第9回日本ユース陸上競技対校選手権大会出場

②文化部: 運動部に準ずる

囲碁・将棋同好会(1名)

組	氏名	顕彰内容
3-7	鍋谷 太郎	第29回全国高等学校将棋竜王戦出場 第40回全国高等学校総合文化祭出場 第52回全国高等学校将棋選手権大会出場

吹奏楽部(11名)

組	氏名	顕彰内容
3-2	伊藤 沙恵	第66回関西吹奏楽コンクール出場 銀賞受賞
3-2	脇谷 紀之	
3-3	石坂 麻衣	
3-3	前田 哲徳	
3-4	岡崎佳菜子	
3-5	藤井 孝憲	
3-8	助田 梨央	
3-8	高橋明日香	
3-9	小池 翔	
3-9	河野 瑞希	
3-9	一角 茜	

自然科学部(17名)

組	氏名	顕彰内容
3-1	國澤 昂平	第11回朝永振一郎記念 科学の芽賞 粉粒体チーム「『粉体時計』の実現報告及びそのメカニズムの数理的考察」日本物理学会Jr.セッション 優秀賞 粉粒体班「『粉体時計』の実現、及びその数理的考察」
3-1	梶下 賀代	工学フォーラム2015 国立大学54工学系学術部会議議長賞(ポスター発表部門最優秀賞受賞) 水滴班「微小重力下で使用できる実験器具を目指して」第30回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)英語発表水滴班「Using mineral scale to control water in microgravity」2015全国SSH生徒研究発表発表者(課題研究では2016年も発表)
3-1	辻 典幸	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」 日本地質学会第122年学術大会 優秀賞 第13回小、中、高校生「地学研究」発表会 真砂土班「花崗岩の風化が及ぼす土砂災害への影響」
3-1	友野 稜太	第11回朝永振一郎記念 科学の芽賞 粉粒体チーム「『粉体時計』の実現報告及びそのメカニズムの数理的考察」日本物理学会Jr.セッション 優秀賞 Asian-Pacific Planning Societies 2016国際会議(ICAPPS)
3-1	中林真梨萌	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 2年連続 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」 日本地質学会第122年学術大会 優秀賞 第13回小、中、高校生「地学研究」発表会 真砂土班「花崗岩の風化が及ぼす土砂災害への影響」
3-1	長谷川夏海	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」 Asian-Pacific Planning Societies 2016国際会議(ICAPPS)英語発表

組	氏名	顕彰内容
3-1	福田 幸音	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 2年連続 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」 Asian-Pacific Planning Societies 2016国際会議(ICAPPS)英語発表
3-1	屋敷 智咲	工学フォーラム2015 国立大学54工学系学術部会議議長賞(ポスター発表部門最優秀賞受賞) 水滴班「微小重力下で使用できる実験器具を目指して」第30回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)英語発表水滴班「Using mineral scale to control water in microgravity」2015全国SSH生徒研究発表発表者
3-2	福森 悠真	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」
3-3	伊東 陽菜	第11回朝永振一郎記念 科学の芽賞 粉粒体チーム「『粉体時計』の実現報告及びそのメカニズムの数理的考察」 日本物理学会Jr.セッション 優秀賞 粉粒体班「『粉体時計』の実現、及びその数理的考察」
3-6	仙波 明徳	神奈川大学全国高校生理科・科学論文 優秀賞 凝灰岩班「凝灰岩の性質の相違によるカルデラ湖形成の推定」
3-8	山本 瑛介	日本地球惑星科学連合大会2016高校生セッション 優秀賞 真砂土チーム「花崗岩の風化による土砂災害への影響」 日本地質学会第122年学術大会 優秀賞 第13回小、中、高校生「地学研究」発表会 真砂土班「花崗岩の風化が及ぼす土砂災害への影響」
3-2	千古 晴菜	第63回日本生態学会大会高校生ポスター賞 審査員特別賞 「環境DNAを用いたミンシツピアカミミガメの生息分布調査」 第39回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会 優秀賞 京都大学博物館 小中高生の探究活動発表会ポスター発表 金賞
3-5	松谷 朱莉	第63回日本生態学会大会高校生ポスター賞 審査員特別賞 「環境DNAを用いたミンシツピアカミミガメの生息分布調査」 第40回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会 優秀賞 京都大学博物館 小中高生の探究活動発表会ポスター発表 金賞
3-5	山崎 瑞穂	第57回日本植物生理学会年会「高校生生物研究発表会」 最優秀賞 「レプリ」方法による葉の成長メカニズムの研究 京都大学博物館 小中高生の探究活動発表会ポスター発表 銀賞
3-6	瓶内ひなた	第63回日本生態学会大会高校生ポスター賞 審査員特別賞 「環境DNAを用いたミンシツピアカミミガメの生息分布調査」 第40回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会 優秀賞 京都大学博物館 小中高生の探究活動発表会ポスター発表 金賞
3-6	塩釜 愛	第57回日本植物生理学会年会「高校生生物研究発表会」 最優秀賞 「レプリ」方法による葉の成長メカニズムの研究 京都大学博物館 小中高生の探究活動発表会ポスター発表 銀賞

課題研究(10名)

組	氏名	顕彰内容
3-1	一宮 亘	課題研究 テーマ「小翼を応用した新しい風車のデザイン」が、平成28年度SSH生徒研究発表会において、全国2位に相当するJST(科学技術振興機構)理事長賞を受賞した。
3-1	大橋 侑加	
3-1	梶下 賀代	
3-1	杉本 沙慧	
3-1	堤 雄大	
3-1	野田 歩夢	
3-1	安田 匠利	
3-1	瀧本 真裕	
3-1	藤原 彩葉	
3-1	原 菜月	

2. 学校外での活動

(イ)その他(計6名)

組	氏名	顕彰内容
3-8	大村 浩士	平成27年度 秋季兵庫県高等学校硬式野球大会 第4位 主戦投手、中心打者として活躍した。この大会での活躍が認められ、兵庫県高等学校優秀野球選手表彰を受賞した。
3-1	福田 幸音	第58回全国学芸サイエンスコンクール小説部門 入賞
3-1	數馬 圭乃	第17回後藤新平・新渡戸稲造記念拓殖大学 高校生・留学生作文コンクール奨励賞
3-6	多木愛美音	第3回KOBELCO森の童話大賞中高生の部 銀賞 第4回KOBELCO森の童話大賞中高生の部 銅賞
3-7	朝喜 萌日	第4回KOBELCO森の童話大賞中高生の部 銅賞
3-8	法田 尚子	第59回全国学芸サイエンスコンクール作文・小論文部門 旺文社赤尾好夫記念賞(銀賞)

以上 48名(内重複2名)

母校の人事異動

退職された方

事務局長 森 俊雄
 教諭 辻 祐子 英語
 教諭 辻 祐子 英語

離任された方々

教頭 安岡 久志
 教頭 川西峰高等学校 校長へ
 教頭 生野高等学校 校長へ
 教諭 加古川西高等学校へ
 教諭 保健体育 宝塚高等学校へ
 教諭 理科 東灘高等学校へ
 臨時講師 英語 北条高等学校 臨時講師へ
 臨時実習助手 伊丹市立中学校 教諭(国語科)へ
 校務員 高砂高等学校へ
 臨時校務員 加古川北高等学校へ

着任された方々

教頭 佐野 正明
 事務局長 加古川西高等学校 教頭より
 事務立者 古物館 総務部長より
 教諭 英語 姫路高等学校 佳子
 教諭 数学 加古川西高等学校 正明
 教諭 理科 姫路北高等学校 陽里
 保健体育 新採用 (加古川北高等学校 臨時講師)より
 臨時実習助手 相生学院高等学校 優実
 臨時校務員 いなみ野特別支援学校より
 臨時校務員 蓬菜 晃次
 小野工業高等学校より



ふるさとひょうご寄附金
 “県立学校環境充実プロジェクト”で

東高を応援!

卒業生の皆様・地域の皆様 よろしくお願ひします



加古川東高校に「新たな学びの創造と教育環境の充実」を

高 Challenge The World more

1924(大正13年)創立 兵庫県立加古川東高等学校 普通科・理数科

ふるさとひょうご寄附金制度を利用して、東高を応援してください!

加古川東高校は約1世紀に亘る歴史があります。地域、日本、そして世界で活躍する人材を多く輩出してきた伝統校です。加古川東高生の活躍は卒業生の皆様、地域の皆様の活躍でもあります。生徒達の更なる活躍のためには皆様のご支援が必要です。どうぞよろしくお願ひします。

お住まいの自治体に納めている住民税などから一定限度まで控除される場合があります。

寄附金を活用する事業

(寄附金の具体的な使用方法)

① アクティブ・ラーニング等

新たな学びを支援する

ICT機器の整備

② 国際交流の充実

③ 充実した部活動を支援する

ための環境整備

《寄附の申し込みについて》

ご不明な点がございましたら、本校事務室(079-424-2726)までお問い合わせください。

また、制度の詳しい説明は兵庫県教育委員会財務課ホームページをご覧ください。

公益財団法人 青松会から

理事長 水 埜 安 寛
(高15回)



清流会会員の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

加古川東高校には、奨学金の給付事業を行う公益財団法人青松会があります。

青松会は昭和50年に教育振興のため、生徒の就学援助を行い、その心身の健全な育成を図ることを目的に、清流会の先輩会員を中心に設立されました。

設立以来42年間、基本財産の運用と清流会会員の皆様からの寄附金により、多くの奨学生に奨学金の給付事業を行ってまいりました。公立高校で奨学金給付事業を行う公益財団法人を有するのは珍しく、加古川東高校は素晴らしい高校だと思えます。

奨学金の給付事業は、低金利時代の現在、基本財産の運用益が期待できない状況にあり、清流会会員の皆様からの寄附金によるところが大きくなっています。毎年清流会会員の皆様、元奨学生の皆様からの多くの寄附を頂いています。加古川東高校清流会と、青松会は奨学金給付事業を続けていくことを誇りに思っています。

本年は別記の、役員で公益財団法人青松会の奨学金給付事業を行っています。

清流会会員の皆様に青松会をより知って頂き、加古川東高校生徒の輝く未来のために、更なるご支援をお願いして「清流」に掲載させて頂いています。

青松会は兵庫県より公益財団法人青松会の認定を平成24年4月に受けました。

公益財団法人青松会に対する寄附金は、会員の皆様が確定申告を行う場合、所得税法上寄附金控除の対象になります。

事務局

〒675-0039
加古川市加古川町粟津232-2
(加古川東高校内)
TEL・FAX
079-421-8464
専務理事 山田 拓史(高13回)

公益財団法人青松会 役員

平成29年7月1日

理事長	水埜安寛 (高15)			
副理事長	大庫俊介 (高19)	岡田義則 (高23)		
専務理事	山田拓史 (高13)			
理事	泉 正紀 (高25)	坂田克己 (高36)	藤本陽一 (高24)	
	松尾将勝 (高27)	水埜 浩 (高33)	森本幸吉 (高28)	
	吉田実盛 (高32)	脇谷政孝 (高33)		
監 事	渋谷 哲 (高18)	三宅隆宏 (高14)		
評 議 員	大西壯司 (高21)	加古武史 (高36)	籠谷紘義 (高13)	
	釜谷研造 (高2)	十倉茂明 (高9)	富田鉄也 (高8)	
	宮宅勇二 (高24)	山口勝英 (高15)	吉山 徹 (高15)	
	安本 直 (加古川東高校校長)			

青松会への感謝

ピムコ・ジャパン・リミテッド最高経営責任者
松 井 昭 憲 (高30回)

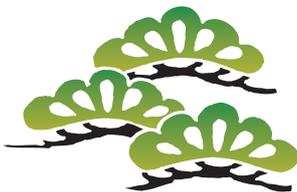


世界の中央銀行や政府関係者との交流は深い。特に、米国本社で経済・政治顧問となつて頂いているベン・バーナンキ前FRB議長、ゴードン・ブラウン元英国首相、ジャンクロード・トリシェ前欧州中央銀行総裁等とは毎四半期に開催されるグローバル経済会議の場でカリフォルニアの本社でお会いする機会がある。いずれも正に世界のトップリーダー達で見聞に富んだアイデアや洞察に毎回感銘を受ける。

加古川東高校の皆さんには、世界に目を向けて是非活躍して欲しい。カリフォルニアに出張した時に、何故か加古川を思い出す。どちらも晴天が多いせいなのか、私の体に加古川のDNAが強く息づいているのか。いずれにしても、今の自分があるのは、両親や家族のお蔭、加古川東高校のお蔭、そして青松会のお蔭であることは間違いない。少しでも恩返しが出来れば、これほど幸せなことはない。

青松会からの奨学金はありがたかった。母が何度も感謝の言葉を口にしてきたのを今でも覚えている。

兄も私も、日系の金融機関で20年近く勤務した後、外資系金融に身を転じた。私は現在、ピムコという米系の運用会社の日本法人の代表を務めている。政府、金融機関や公的・私的年金向けのビジネスが多いが、一般には知られていないが、グローバルには170兆円を超える運用を行っている。債券での運用が得意な為、



役員一覽

平成29年6月1日現在

元会長 木下正一(中18)
 前会長 山口勝英(高15)

会長 大西壯司(高21)

副会長 多木有一(高21)
 藤本陽一(高24)
 土屋光世(高27)
 大庫隆夫(高28)
 大西淳滋郎(高29)
 黒田昌宏(高37)

会計監査 泉正紀(高25)
 吉田実盛(高32)

会計内藤三恵(高12)
 宮宅勇二(高24)

書記 榊真由美(高33)
 得田恵司(高48)

総務委員 畑谷芋一(高3)
 籠谷紘義(高13)
 松崎正俊(高14)
 大庫俊介(高19)
 仲上常幸(高19)
 宮宅勇二(高24)
 ○北野砂恵子(高29)

◎鈴木利信(高31)
 宮本順子(高31)
 小林尚美(高32)
 佐野さとみ(高33)
 榊真由美(高33)
 ○坂田亨(高35)
 川崎万理子(高41)
 鹿間聖(高41)
 藤本准一(高43)
 山本鉄平(高45)
 大野恭平(高46)

文化委員 西村義富(高第2)
 穴田滋子(高7)
 菅野正子(高13)
 ○岩坂純一郎(高20)
 川西幹雄(高20)
 網谷純子(高21)
 久保一人(高22)
 ◎末澤正臣(高30)
 佐野裕美(高30)
 西川陽子(高30)
 大竹恭子(高30)
 玉野ますみ(高30)
 小林直樹(高33)
 ○岡崎美和子(高33)
 阿野康子(高39)
 宗和素子(高46)

体育委員 能田達三(高12)
 藤原真理子(高20)
 石堂求(高22)
 福岡照文(高23)
 ○三村浩之(高24)
 梅谷誠一(高24)
 ◎井岡徳多郎(高28)
 ○坂下雅一(高29)

校長 安本直

校内幹事 井上浩義(高30)
 佐野正明(高31)
 松下博昭(高35)

事務長 股野孝司

事務局 古川千恵子(高30)

(◎は各委員会の委員長)
 (○は副委員長)



<地域支部>

- 東京支部
松井昭憲(高30回)
横浜市 [redacted]
- 姫路支部
平田建喜(高19回)
高砂市 [redacted]
- 大阪支部
山本俊輔(高25回)
加古郡稲美町 [redacted]
- 明石支部
森本真一(高21回)
明石市 [redacted]
- 奈良支部
板倉敬則(高18回)
奈良市 [redacted]
- 稲美支部
西川征志郎(高12回)
加古郡稲美町 [redacted]

<職域支部>

- 県庁支部
藤原由成(高26回)
加古郡稲美町 [redacted]
- 神戸教職員支部
松井勝美(高24回)
明石市 [redacted]



年次幹事一覧

平成29年6月1日現在

小村修次(中5)	竹内和弘(高14)	末澤正臣(高30)	岡本賢裕(高44)	馬谷昌代(高58)
糟谷一郎(中8)	松崎正俊(高14)	西岡拓代(高30)	筒井利典(高44)	藤村泰仁(高58)
井澤一勝(中13)	三宅隆宏(高14)	川口和代(高31)	田中かおり(高45)	平郡陽子(高58)
武田秀男(中14)	住友義男(高15)	佐伯明子(高31)	高塚香織(高45)	大西賞尚(高59)
長谷川和夫(中17)	福田嘉子(高15)	鈴木利信(高31)	原田かおり(高45)	籠谷真奈(高59)
高倉幸七(中18)	水埜安寛(高15)	玉奥満(高31)	北條俊正(高45)	島津高英(高59)
粕谷衛(中19・20)	山口勝英(高15)	沼田勝彦(高31)	正木一行(高45)	廣島麻衣子(高59)
釜江侃(中19・20)	山崎朝美(高15)	大西賞典(高32)	山本鉄平(高45)	井上紗和子(高60)
金川俊成(高1)	大下一興(高16)	岸本真弓(高32)	岸本敏英(高46)	尾上馨(高60)
永井万介(高2)	清田康之(高16)	林和也(高32)	中塚佳子(高46)	山本明日美(高60)
釜谷研造(高第2)	小林弘子(高16)	劉美鈴(高32)	松林勲(高46)	松尾弘毅(高60)
畑谷芋一(高3)	小山美知代(高16)	池澤文隆(高33)	大森達也(高47)	木村拓也(高61)
長田和久(高第3)	田中靖子(高16)	田中章子(高33)	吉村博隆(高47)	高橋亜希(高61)
田中愛子(高4)	田村明(高16)	名定啓介(高33)	赤江泰介(高48)	豊田成隆(高61)
藤田勇(高4)	松尾勝良(高16)	西山和仁(高33)	待鳥繁隆(高48)	原佳織(高61)
内山慶人(高5)	前田干城(高17)	後藤昌之(高34)	本岡文亜(高48)	穂山隼也(高62)
鷺澤素子(高5)	三宅英璋(高17)	成定淳子(高34)	魚屋由美(高49)	來住翔太(高62)
渋谷春之輔(高5)	森岡史朗(高17)	水埜正彦(高34)	藤原良(高49)	杉田耕介(高62)
菅原啓文(高5)	永井一(高18)	釜谷泰造(高35)	安田薫(高49)	三木原良輔(高62)
石原謙一(高6)	清水賢二(高19)	小山三佳(高35)	家氏純子(高50)	新田薫(高63)
坂田雅文(高6)	仲上常幸(高19)	加古武史(高36)	妙中いつか(高50)	西田早織(高63)
西海郁雄(高6)	岩坂純一郎(高20)	小嶋志之(高36)	北江直樹(高50)	蓬萊翔吾(高63)
西谷正(高6)	藤原真理子(高20)	野上稔(高36)	森本龍介(高50)	菅藤理也(高64)
穴田滋子(高7)	北条雅紀(高21)	藤城奈律枝(高36)	河田直子(高51)	佐伯直澄(高64)
立花幸子(高7)	石堂求(高22)	新井睦美(高37)	澁谷恒一(高51)	野田葵(高64)
藤原義昭(高7)	山崎敏美(高22)	黒田昌宏(高37)	長澤達朗(高51)	松本悠希(高64)
井上勝博(高8)	金川種弘(高23)	長谷川哲也(高37)	原敏生(高51)	永井翔龍(高65)
富田鍊哉(高8)	林郁朗(高23)	田中勇一(高38)	小阪田泰子(高52)	正川みのり(高65)
水口嘉代子(高8)	岩本善典(高23)	初瀬富美子(高38)	荻野心平(高52)	見塚圭一(高65)
磯野達(高9)	小林達子(高24)	片山憲一(高38)	柏井康彦(高52)	米田奈生(高65)
上田佳子(高9)	三村浩之(高24)	別所眞(高39)	林郁子(高52)	伊賀優花(高66)
十倉茂明(高9)	安田しをり(高24)	松井亜希子(高39)	川田直寛(高53)	木村雄亮(高66)
内藤美栄子(高9)	衣笠仁浩(高25)	三谷佳裕(高39)	堰本愛(高53)	千歳吾朗(高66)
井原源介(高10)	小林孝子(高25)	西川隆博(高40)	中山智裕(高53)	津村海謡(高66)
大辻利弘(高10)	沢田敏郎(高25)	堀井信明(高40)	桑野浩(高54)	池野和之介(高67)
神吉賢一(高10)	山本普子(高25)	前田恵美(高40)	西田寛(高54)	坂本晴輝(高67)
長谷川好一(高10)	下村浩司(高26)	頼洋理子(高40)	藤井美穂(高54)	中村遥佳(高67)
内田明美(高11)	畠房生(高26)	北川寿一(高41)	井上祐輔(高55)	三好菜月(高67)
後藤太原磨(高11)	本岡茂範(高26)	小牧清彦(高41)	中原初実(高55)	南奈緒(高68)
土師さか系(高11)	浅場知洋(高27)	鹿間聖(高41)	砂川祐子(高55)	吉田篤史(高68)
原雅子(高11)	網干美保(高27)	平田ひとみ(高41)	庄司博美(高56)	溝口真梨奈(高68)
阿江縫子(高12)	上野均(高27)	生田聡(高42)	門地あゆみ(高56)	遠藤由基(高68)
長谷川募(高12)	井岡徳多郎(高28)	坂本佳恵(高42)	八木勇磨(高56)	渡邊千加(高69)
松田欣治(高12)	松本高亮(高28)	吉井妙(高42)	田中章浩(高56)	畑颯太(高69)
山口久子(高12)	森本幸吉(高28)	今井甲二郎(高42)	東達也(高57)	上田大一郎(高69)
籠谷紘義(高13)	城伸幸(高29)	掛川佳世子(高43)	大滝掬(高57)	塩谷優(高69)
菅野正子(高13)	新田順子(高29)	宮本雅之(高43)	前田瑠依(高57)	
堀井扶佐子(高13)	松下正明(高29)	井上智史(高44)	稲岡孝介(高58)	

平成28年度 清流会収支決算書

(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

収入の部

決算額－予算額＝マイナスの時▲

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1. 会費等収入	8,076,000	8,292,800	216,800	
卒業生会費	6,750,000	6,666,000	▲84,000	3,000円×2,222件(前年度：6,648,000)
在校生会費	1,296,000	1,289,800	▲6,200	
特別寄付金	30,000	337,000	307,000	11件
2. 雑収入	1,500,000	1,457,026	▲42,974	総会、新年会、利息他
3. 前年度繰越	2,589,012	2,589,012	0	
合計	12,165,012	12,338,838	173,826	

支出の部

決算額－予算額＝マイナスの時▲

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1. 事務費	1,190,000	1,032,270	▲157,730	
事務手当	650,000	550,000	▲100,000	
消耗品費	100,000	57,485	▲42,515	文具、コピー他
通信費	200,000	206,279	6,279	電話、ハガキ他
振込手数料	230,000	207,734	▲22,266	年会費振込手数料
雑費	10,000	10,772	772	残高証明発行手数料
2. 会議費	160,000	103,750	▲56,250	
諸会合費	120,000	86,906	▲33,094	オール・本部役員会
総務委員会費	20,000	8,070	▲11,930	
文化委員会費	10,000	8,774	▲1,226	
体育委員会費	10,000	0	▲10,000	
3. 事業費	8,970,000	8,279,092	▲690,908	
総会・新年会費	2,000,000	1,723,958	▲276,042	
清流発行発送費	4,500,000	4,265,152	▲234,848	
会員美術展開催費	350,000	247,947	▲102,053	
ゴルフ等開催費	20,000	20,000	0	ゴルフ・グラウンドゴルフ大会
支部活動費	650,000	680,000	30,000	支部会、年次会祝い他
旅費交通費	150,000	142,000	▲8,000	支部会への出席旅費交通費
部活動等助成金	800,000	799,421	▲579	部活動支援
奨励表彰費	400,000	310,476	▲89,524	新入会員記念品、表彰
慶弔費	100,000	40,138	▲59,862	お祝い、弔電、饗別等
その他	0	50,000	50,000	学校指定寄付
4. 予備費	1,545,012	0	▲1,545,012	
5. 周年事業支出	300,000	300,000	0	周年事業支出
6. 次年度繰越	0	2,623,726	2,623,726	
合計	12,165,012	12,338,838	173,826	

収入 12,338,838 支出 9,715,112 次年度繰越 2,623,726

周年記念事業等特別会計決算書 (平成29年5月31日) 単位：円

項目	金額	摘要
前年度繰越金	7,606,036	郵便局定額貯金 2,808,000 ゆうちょ銀行総合 2,067,200 三井住友(スーパー定期4口) 2,730,836
一般会計からの繰入金	300,000	
利息	299	
合計(次年度繰越金)	7,906,335	郵便局定額貯金 2,808,000 ゆうちょ銀行総合 2,367,217 三井住友(スーパー定期2口) 2,731,118

教育助成基金会計報告書 (平成29年5月31日) 単位：円

項目	金額	摘要
前年度繰越金	2,078,710	三井住友(普通)
利息	18	(8/22分 9) (2/20分 9)
支出	0	
合計	2,078,728	次年度へ繰越

監査報告

平成28年度決算、並びに周年記念事業等特別会計について、通帳、諸帳簿を監査した結果、すべて正確かつ適切に記入されていることを報告します。

平成29年6月8日

会計監査 泉 正 紀

会計監査 吉 田 実 盛

平成28年度事業報告書

事業名	開催回数
総会	1
新年懇親会	1
会計監査	1
正副会長会	2
本部役員会	3
オール役員会	1
総務委員会	4
文化委員会	3
体育委員会	2
入会式	1
支部総会	8
年次同窓会	16

叙勲・褒章・表彰のお祝い

各界で活躍されている清流会員で、叙勲、褒章、表彰などを受章された方々を祝意を込めて紹介させていただきます。(順不同、敬称略)
全ての情報が必ずしも事務局に寄せられているわけではありませんので、ご紹介できずに失礼していることがあると思います。

今後ご紹介を続ける予定ですので、情報をお寄せ下さるようお願いいたします。

<2015年春の褒章>

藍綬褒章 丸山 靖彦 (高10回) 保護司
藍綬褒章 大西 真美子 (高21回) 保護司

<2016年秋の叙勲>

瑞宝双光章 宮永 達 (高8回) 教育
瑞宝小綬章 佐伯 道雄 (高16回) 教育
瑞宝双光章 中谷 範之 (高19回) 消防

<2017年春の叙勲>

瑞宝単光章 厚海 正昭 (高23回) 消防

委員会からの報告

総務委員会

平成29年清流会新年会は1月13日に恒例の加古川プラザホテルにて、70名が出席して、楽しく行われました。催しとして高橋竹仙氏(高30回生)による津軽三味線演奏もあり、素晴らしいひとときを過ごすことができました。

さて、会員の皆様にお願ひがあります。清流会の会費収入が徐々に少なくなっています。ご協力をよろしくお願ひいたします。

委員長 鈴木 利信 (高31回)



とともに、清流会のホームページを充実させるためにも、より若い世代(高40回以降)の皆様の文化委員会への参画をよろしくお願ひいたします。

体育委員会

委員長 井岡 徳多郎 (高28回)

平成28年度体育委員会では、2つの事業を行いました。
①第114回清流会ゴルフ大会を平成28年9月8日に加古川ゴルフ倶楽部にて開催致しました。
優勝は明石 知史朗様(高16回)、準優勝 大西 淳滋郎様(高29回)でした。おめでとう御座います。

②第11回清流会グランドゴルフ大会を平成29年1月13日に日岡山公園サッカー場で開催いたしました。

優勝は井澤 丑二良様(高9回)、準優勝 内田 明美様(高11回)でした。真冬の寒空の下、皆さん元気一杯楽しくプレーされていました。

平成29年度も引き続き2つの事業を予定しております。

- ①第115回清流会ゴルフ大会
日時：平成29年9月14日(木)
場所：加古川ゴルフ倶楽部
- ②第12回清流会グランドゴルフ大会
日時：未定
(春先の暖かい時期)
場所：日岡山公園
サッカー場

※初参加の方も含めて、皆様と楽しい時間をすごしたいと思っておりますので多くの参加をお待ちしております。



文化委員会

委員長 末澤 正臣 (高30回)

文化委員会は「清流」の編集・発行を担当しています。平成28年度も多数の年次会が開催されたこともあり、「清流」第52号も20ページの構成となりました。この度の紙面編集では、支部総会や年次会など同窓生の交流・懇親の便りを前半に、事務的な報告や案内を後半にまとめてみました。



また、新しい試みとして、クラブ活動OB・OGの懇親会などの報告も掲載しています。今回のテニス部のような集いを開催されているグループがありましたら、是非とも寄稿をお願いしたいと思います。今後も見易く楽しい紙面を目指す

清流会からのお知らせとお願ひ

地域支部総会・職域支部総会・年次会について

開催されるときは、本部事務局へご連絡をお願いします。会長(代理)がお祝金をお届けし、母校の近況報告をさせていただきます。

年次会の開催にあたっては、案内状発送の便宜を図るため、年次会員の宛名シール等を用意いたします(但し有料です。詳しくは事務局まで。)

住所など変更の場合

住所、氏名などに変更が生じたときは事務局へご連絡ください。

お祝ひについて

1. 還暦・古稀・傘寿・米寿・白寿のお祝ひはすべて3,000円とします。(但し、総会出席者のみです)
2. 叙勲・褒章受章は祝電をお送りします。

会員死亡の場合

全会員を対象に弔電をお送りいたしますので、事務局へお知らせください。(香料は差し上げていません)

特別寄附金で協力のお願い

同窓会費は在校生の部活動の支援にも使わせていただいています。在校生の活躍は同窓生にとっても大きな喜びですが、それなりの費用がかかるのもまた現実問題としてあります。

年次同窓会での余剰金や慶事記念行事の際などにご寄附いただければ幸いです。

会員の皆様に年会費納入のお願いをした上に、誠に心苦しいのですが母校支援のための特別寄附金(金額はいくらでも結構です)のご協力をお願い申し上げます。

同封の振込用紙をご利用ください。

但陽信用金庫本店営業部 普通5461365
兵庫県立加古川東高等学校清流会特別寄附
会長 大西 壯司

平成29年度 清流会総会

～ 光はつねに東より ～

恒例の総会が近づいてきました。会員であればどなたでも参加可能です。お誘い合わせのうえご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。

日時 平成29年8月6日(日)
11:30～(受付11:00～)

会場 加古川プラザホテル
(Tel: 079-421-8877)

会費 6,000円

次第 ①総会

- ②在校生によるアメリカ研修報告
③講演 高瀬耕造氏(高46回) NHKアナウンサー
④懇親会(豪華な福引あり)

- ◎ご出席の方は、同封のハガキで7月28日までに返信ください。
◎懇親会では、白寿(中9) 米寿(中21・高1) 傘寿(高9) 古希(高19) 還暦(高28)の方へのお祝いをしております。該当する回生の方は、ぜひご出席下さい。
◎各支部長様は、10時からの懇親連絡会にご出席をお願いいたします。

今年度の支部総会・年次会など

東京支部	2017年11月10日 アルカディア市ケ谷	松井 昭憲
大阪支部	2017年9月9日 大阪神仙閣	山本 俊輔
奈良支部	2017年9月3日	板倉 敬則
姫路支部	2018年2月16日	平田 建喜
明石支部	2018年2月15日	森本 眞一
稲美支部	2017年5月7日 稲美町コミュニティーセンター	西川征志郎
県庁支部	未定	藤田 隆司
神戸教職員支部	未定	松井 勝美
高63回	2017年12月末予定	西田 早織

● 清流会事務局の執務案内 ●

清流会事務局は、母校内の清流館3階にあります。古川千恵子さん(高30回)が事務局員として執務しています。

執務日は毎週月曜日と木曜日の午前中です。

TEL: 079-421-0373 FAX: 079-421-8464

TEL: 079-424-2726 (緊急時学校)

メールアドレス: kakohigashiseiryukai@topaz.ocn.ne.jp

清流会ホームページ



清流会では、ホームページも開設しております。

<http://seiryu-kai.jp/>

年次会の案内や報告にご利用ください。会員のトピックスなども歓迎いたします。

東京支部や稲美支部のホームページにもリンクしています。ぜひ、ご覧ください。

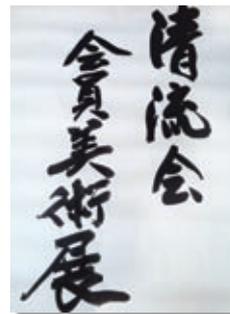
詳しくは、清流会事務局まで。

第17回清流会会員美術展

清流会会員美術展は隔年開催ですので、次回は平成30年の総会時に合わせて開催する予定です。

会員の皆様方には、毎回秀逸な作品を出品いただいております。誠にありがとうございます。

清流会では、この催しを通じてさらに同窓の絆、交流を深めていただきたく、新たに出品していただける方を募っております。関心のある方は、清流会事務局までご連絡ください。



年会費納入のお願い

清流会の事業は会員の皆様からの年会費でまかなわれています。近年は会費納入者が逡減化の傾向にあります。在校生の支援や同窓生の交流事業を進めるために年会費3,000円の納入をお願いいたします。納入期限は平成30年5月31日になっておりますが、早期の納入にご協力を重ねてお願いいたします。

納入に際しては同封の振込用紙(コンビニ、郵便局、但陽信用金庫)をご利用ください。手続きが初回のみで済み、毎年窓口で振り込む手間が不要になる但陽信用金庫の「定額自動送金サービス」を利用して納入することもできますのでご利用ください。